

五味温泉（内装木質化：平成21年度）

■所在地	北海道上川郡下川町班溪2893番地	■木材使用量	19.49m ³
■設置者	下川町	うち地域材	19.49m ³
■構造	鉄筋コンクリート造	■使用樹種 床	シラカバ
■延床面積	165m ²	壁	カラマツ



休憩室



休憩室



娯楽室



ホール

◆施設の概要

自然あふれる山あいにある本施設は、町内外から多数の人の利用が見込める施設であり、利用者に木の良さをPRできるものとして内装木質化を行いました。地域材をふんだんに使い多くの利用者に対して木の香り、ぬくもりを感じてもらい、森林のまちをアピールしています。

◆工法等の特徴

旧浴場部分を有効活用するため、下地材に地元トドマツ集成材等を、フローリング及び壁に地元のシラカバやカラマツを用いて改装をし、鉄筋コンクリート造を感じさせないよう温もりのある施設造りに努めました。

また、備え付けのイスなどにも地元の木材を用いています。

下川町公民館「1階」(内装木質化：平成21年度)

■所在地	北海道上川郡下川町幸町95番地	■木材使用量	6.52m ³
■設置者	下川町	うち地域材	5.35m ³
■構造	鉄筋コンクリート造	■使用樹種	床 タモ
■延床面積	369m ²	腰壁	カラマツ



ロビー



ホール



ホール



廊下

◆施設の概要

下川町は、森林を活用したまちづくりを進めており、その取組みを広くアピールするため、不特定多数の人の来館が見込める本施設を改装し、床がタイルで張られていただけの内装を、床及び腰壁に地域材をふんだんに使って木質化しました。多くの来館者に対して木の香り、ぬくもりを感じてもらい、森林のまちをアピールしています。

◆工法等の特徴

施設内の床及び腰壁を可能な限り木質化し、鉄筋コンクリート造を感じさせないよう温もりのある施設造りに努めました。

機材等搬入路については、フローリングだと損傷する恐れがあるため、ゴムチップとしました。

下川町役場庁舎（内装木質化：平成21年度）

■所在地	北海道上川郡下川町幸町63番地	■木材使用量	20.75m ³
■設置者	下川町	うち地域材	17.02m ³
■構造	鉄筋コンクリート造	■使用樹種	床 タモ
■延床面積	1,065m ²	腰壁	カラマツ



2階フロア



2階ホール



階段



3階ホール

◆施設の概要

下川町は、森林資源が豊富で林産業も盛んな町であり、その特性をPRするために、床がタイルで張られていただけの庁舎内装を、床及び腰壁に地域材をふんだんに使って木質化しました。多くの来庁者に対して木の香り、ぬくもりを感じてもらい、森林のまちをアピールしています。

◆工法等の特徴

施設内の床及び腰壁を可能な限り木質化し、鉄筋コンクリート造を感じさせないよう温もりのある施設造りに努めました。

下川町共生型住まいの場「ぬく森」(平成22年度)

■所在地 北海道上川郡下川町南町 360 番地 1
■設置者 下川町
■構造 木造平屋建
■延床面積 702.68m²

■木材使用量 187.08m³
うち地域材 176.01m³
■使用樹種 カラマツ、トドマツ



外 観



外 壁



多目的ホール



居 室

◆施設の概要

共生型住まいの場「ぬく森」は、高齢者及び障害者の住まいの場と地域の仲間が集うサロン事業の拠点として、地域材をふんだんに使った施設です。外壁には、カラマツくん煙処理材、内装のフローリングにもカラマツ材を使用するなど、地域の特性である森林資源を活用した、木の優しさや温もりが感じられる施設となっています。

◆工法等の特徴

高齢者及び障害者が集うための多目的ホールは、広いスペースが必要であることから、集成材の梁によって強度を確保し、無柱空間を構成しています。

外壁には木酢くん煙処理を施した羽目板を張ることで、内部空間の木の温もりを外部にも伝わるようにしています。

下川町公民館「2階・3階」 (内装木質化：平成23年度)

■所在地	北海道上川郡下川町幸町 95 番地	■木材使用量	13.78m ³
■設置者	下川町	うち地域材	13.78m ³
■構造	鉄筋コンクリート造	■使用樹種	床 ナラ
■延床面積	682m ²	内外装	トドマツ、カバ



◆施設の概要

下川町は、森林を活用したまちづくりを進めており、その取組みを広くアピールするため、不特定多数の人の来館が見込める本施設を改装し、床がタイルで張られていただけの内装を、床及び腰壁に地域材をふんだんに使って木質化しました。

多くの来館者に対して木の香り、ぬくもりを感じてもらい、森林のまちをアピールしています。

◆工法等の特徴

施設内の床及び腰壁を可能な限り木質化し、鉄筋コンクリート造を感じさせないよう温もりのある施設造りに努めました。器材等を搬入するエレベーター入口付近は、フローリングだと損傷する恐れがあるため、ゴムチップとしました。

ふれあい交流施設（平成24年度）

- | | | | |
|-------|------------------|--------|--------------------|
| ■所在地 | 北海道上川郡下川町班溪2892 | ■木材使用量 | 11.5m ³ |
| ■設置者 | 下川町 | うち地域材 | 11.5m ³ |
| ■構造 | 木造平屋建て | ■使用樹種 | |
| ■延床面積 | 37m ² | 構造 | カラマツ、トドマツ |
| | | 内外装 | カラマツ、トドマツ |



◆施設の概要

本施設は、町内外の多くの方が利用している五味温泉周辺に木の良さをPRできる「ふれあい交流施設」として建設されました。地域材をふんだんに使い、木材ならではの優しさや温かみのある、落ち着いた雰囲気を感じていただくことができます。

◆工法等の特徴

本施設は、構造材にカラマツ集成材、外壁にはカラマツくん煙処理材を利用するなど、地域材をふんだんに利用しています。また、構造材の一部には、カラマツの芯持ち正角材を利用しています。

一の橋住民センター（平成24年度）

- | | | | |
|-------|-------------------|--------|--------------------|
| ■所在地 | 北海道上川郡下川町一の橋607 | ■木材使用量 | 74.7m ³ |
| ■設置者 | 下川町 | うち地域材 | 69.2m ³ |
| ■構造 | 木造2階建て | ■使用樹種 | |
| ■延床面積 | 267m ² | 構造 | カラマツ、トドマツ |
| | | 内外装 | カラマツ、トドマツ |



◆施設の概要

本施設は、地域コミュニティの維持・向上と安全・安心に繋げるとともに、来館者に木の良さをPRできる交流センターとして建設されました。

地域材をふんだんに使い、木材ならではの優しさや温かみのある、落ち着いた雰囲気を感じていただくことができます。

◆工法等の特徴

本施設は、構造材にカラマツ集成材、外壁にはカラマツくん煙処理材、内装のフローリングにもカラマツ材を使用するなど、地域材をふんだんに利用しています。また、木製サッシにも地域材が用いられています。

町立下川小学校（内装木質化：平成 25 年度）

■所在地 北海道上川郡下川町西町 40 番地
■設置者 下川町
■構造 鉄筋コンクリート造
■延床面積 2,487m²

■木材使用量 55m³
うち地域材 55m³
■使用樹種
腰壁：カラマツ、トドマツ
床：シラカバ、タモ、ナラ等



◆施設の概要

森林資源が豊富で林業・林産業が盛んな下川町の地域特性を活かし、学校施設において環境に配慮したエコスクールとして、地域材を利用した内装木質化を実施しました。

本施設は、昭和 46 年に建築された鉄筋コンクリート造の小学校であり、今回の内装木質化により 1 階から 3 階について、地域材を活用しながらタイル床をフローリングに改修し、さらに腰壁等を新たに設置しました。

◆工法等の特徴

校舎内の教室、玄関、廊下、階段、職員室などの床、腰壁、柱、梁部分を地域材に張り替え、また、教室の引き戸、ロッカーなどもカラマツ材、トドマツ材を利用しています。

特徴として、各階で異なる樹種を使用し、1 階はミズナラ、2 階はタモ、3 階はシラカバなどとし、樹種がわかるように表示しています。

町立下川中学校（内装木質化：平成 26 年度）

- 所在地 北海道上川郡下川町南町 417 番地
- 設置者 下川町
- 構造 鉄筋コンクリート造
- 改修延床面積 2,642m²

- 木材使用量 54.0m³
うち地域材 53.9m³
- 使用樹種
腰壁：カラマツ、トドマツ
床：シラカバ、タモ、ナラ等



◆施設の概要

森林資源が豊富で林業・林産業が盛んな下川町の地域特性を活かし、学校施設において環境に配慮したエコスクールとして、地域材を利用した内装木質化を実施しました。

本施設は、昭和 52 年に建築された鉄筋コンクリート造の中学校であり、今回の内装木質化により 1 階から 3 階について、地域材を活用しながらタイル床をフローリングに改修し、さらに腰壁等を新たに設置しました。

◆工法等の特徴

校舎内の教室、玄関、廊下、階段、職員室などの床、腰壁、柱部分等を地域材に張り替え、教室の引き戸、ロッカーなどもカラマツ材、トドマツ材を利用しています。また、以下のとおり樹種の特徴ごとに床材を使い分け、快適な空間をデザインしました。

シラカバ・カバ材：色が明るいので暗くなりがちな廊下に使用。

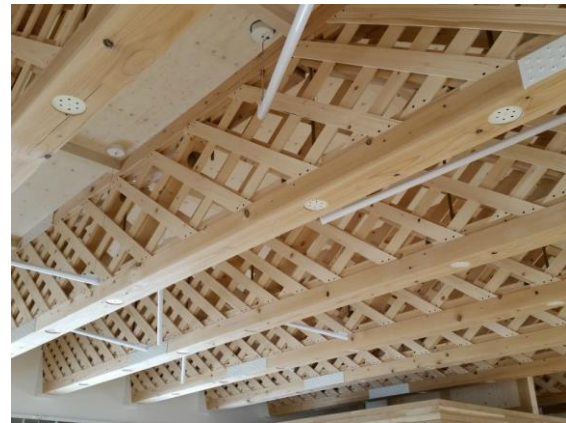
タモ材：比較的落ち着いた雰囲気を持つため、特別教室に使用し、普通教室との違いを演出。

ナラ材：重厚で硬く耐久性に優れているため、利用頻度の高い普通教室や金工室に利用。

カラマツ材：赤みのある華やかな色味を持つため、特別な雰囲気を演出したい音楽室や英語教室、また、来客数の多い会議室や展示資料室に使用。

医療植物研究施設（平成26年度）

■所在地	北海道上川郡一の橋607番地	■木材使用量	49m ³
■設置者	下川町		うち道産材（地域材含む）48m ³
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造材：カラマツ、トドマツ
■延床面積	177.81m ²		壁・造作材：トドマツ、ナラ、ニシ
			外壁：カラマツ燻煙材



◆施設の概要

本施設は、未利用森林資源の新たな利活用を研究すること、さらには、本町がこれまで取り組んできた地域材を活用した木造建築技術を活かし、多様な樹種の多様な使い方・デザイン性を提示し、木材需要を喚起するショーケースとしてPRすることを目的に、薬木・薬草の栽培研究等を行う拠点施設として建設しました。

また、構造材や造作材に利用されたトドマツ材やナラ材等は、医療植物研究を実施する王子ホールディングス㈱の道北社有林から提供されました。

◆工法等の特徴

この建物は、土台を除くすべての構造材、下地材にトドマツ製材を使用しています。構造計算の工夫を行い、住宅用の小さいサイズのトドマツ製材で構成する木造トラスと薄いラティス材を組み合わせた梁を掛け渡し、広々とした空間を演出しました。

インテリアでは、床や壁に木肌の白いトドマツ材を多く用いて明るく仕上げた中に、深みのある表情を持ったナラ材やニシ材を使用しました。

外装は、カラマツくん燻煙材で仕上げ、隣接する一の橋バイオビレッジ（集住化住宅）の建物群との調和を図りました。